（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州地酒のアンバサダー養成とブランディング基盤整備事業
事業主体 （連絡先）	長野県酒造組合　若葉会 長野県長野市栗田字西番場 205-6　　電話 026-227-3133
事業区分	３　教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,100,000 円（うち支援金：825,000 円）

事 業 内 容

①歴史書『信州の酒の歴史』をベースにした PR ツールの開発／主に小中学校での出前授業で使用する資料制作
②歴史書『信州の酒の歴史』の PDF 化と公式ホームページでの公開
③Web ページの整備／動画「日本酒昔ばなし」と「地酒王国信州～信州の酒の歴史」の公式ホームページでの公開
④松本調理師製菓師専門学校で日本酒講座を実施
⑤信州大学キャリア形成論特別授業“大しごとーく in 信州”への登壇
⑥インターンシップカリキュラム設計・参加募集

写真は④日本酒講座の様子

【目標・ねらい】

①②③
→信州の酒の歴史の整備
④⑤⑥
→若年層への信州の地酒 PR

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

過去 2 年間での事業内の制作コンテンツ含め、3 年間で制作したコンテンツやツールは当組合にとって効果的で広い範囲に PR 可能なブランディングの為の基盤を整備する事ができたと自負している。
また信州大学や松本調理師製菓師専門学校での授業への登壇も定例化する事ができ、今後も継続していく。
※数値に見る効果
・YouTube チャンネル「信州の酒の歴史」登録者 46 件
・松本調理師製菓師専門学校日本酒講座聴講者 19 名
・信州大学キャリア形成論特別授業聴講者 256 名

※自己評価【C】

【理由】
数字的な目標を達成できなかった部分があるため。
（但し実際的な事業効果が表れるのは今後だと考えられる）

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これまでに制作した全てのコンテンツを、長野県酒造組合公式ホームページ及び YouTube チャンネル「信州の酒の歴史」で公開する事により、永続的に視聴する事が可能になっている。またそれらコンテンツを組合・組合加盟社が積極的に使用し PR できるように、貸し出し用として DVD にまとめて 10 セットを組合事務所に用意した。R6 年度以降、県内外で実施する諸イベントでの使用や、長野県酒造組合加盟社の個々の利用を促していく事により、日本酒の銘醸地である「信州の地酒」のイメージを効果的且つ全国的に訴求する基盤ができたと考えている。
本事業は令和 5 年度で一区切りつけるが、基盤ができたという観点では、ようやくスタート地点に立つことができたとも言える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある